

課題

1. お客さま：某電解メーカー
2. 測定対象：**苛性ソーダ（濃縮前 5-35 wt%, 濃縮後 45-55wt%）**
3. 既存の測定方式：コリオリ式流量計、超音波式濃度計
4. お客さまの課題

電解槽出口の苛性ソーダ内に、気泡、ニッケル分が混入しており

既設のコリオリ式流量計は、定期的な取外し及びセンサのチューブ内洗浄を必要とした。

また、配管内面にニッケル分が付着と気泡により、既設の超音波式濃度計では、測定のハンチング、ドリフトが生じ、測定することができない。

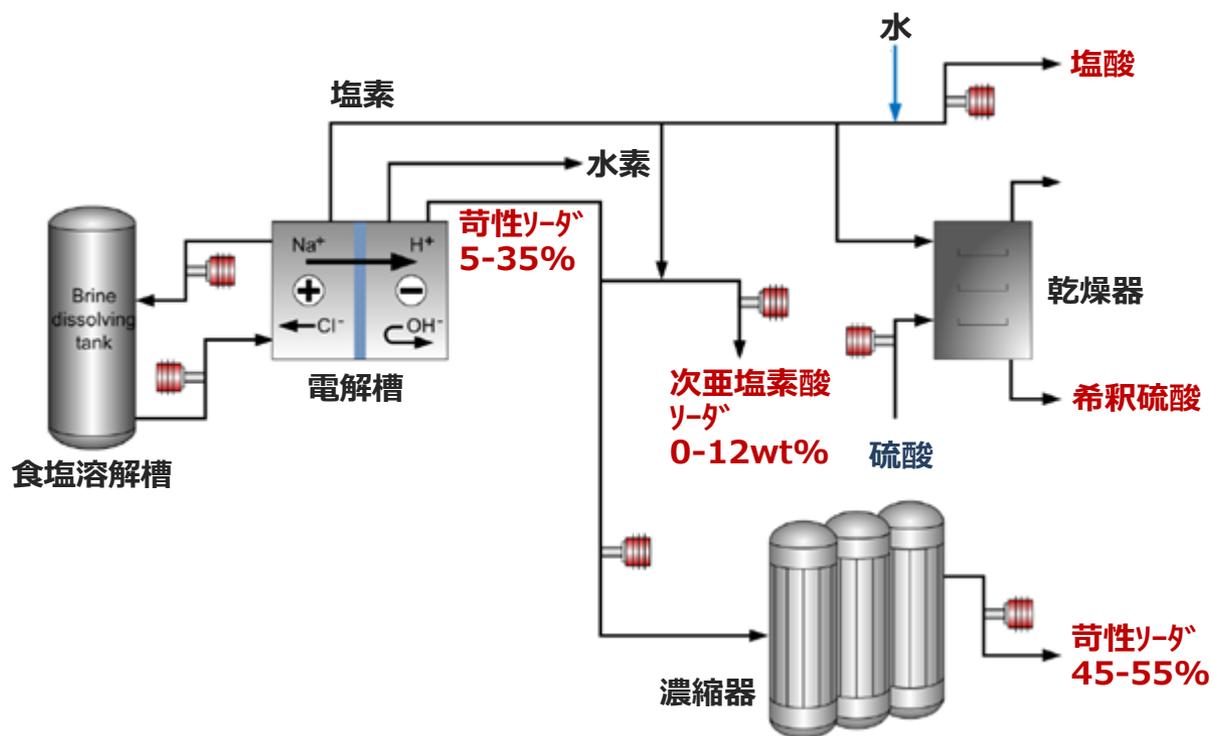
弊社のご提案

1. デモ機のお貸出し：**PR-23-W（ETFE/PFA型）**
2. 検量線：**VAISALA社にて用意した苛性ソーダ測定用検量線を使用**



導入後の効果

1. 気泡・ニッケル分の外乱の影響を受けずに安定した濃度測定が可能となった。(品質向上)
2. 定期的な部品交換や、センサの洗浄作業がなくなった。(ランニングコスト低減)
3. 次亜塩素酸ソーダ (0-12wt%)、塩酸、硫酸においてもご使用中。



屈折率計センサ 据付例